

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興		
施策のねらい(めざす姿)	スポーツをする市民が増え、一人ひとりが健康で明るい生活を送っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	狩谷 昭夫

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	さらなるスポーツ環境の向上を図るため、陸上競技場及び東初富テニスコートの大規模改修を実施する。	③改革・改善内容	スポーツ環境の向上を図るため、陸上競技場の公認取得に向けて備品の整備及びスタンド改修に係る設計を実施する。
②①に基づく取り組み結果	陸上競技場の改修は器具倉庫整備が繰越となったが、東初富テニスコートなどその他は計画どおり改修等の整備を終えた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民及びスポーツ施設	意図(対象をどうするのか)	スポーツ施設の大規模改修を行うことで、市民の利用が増加している。また、スポーツ団体への切れ目のない支援により、スポーツの振興が図られている。
②施策の概要	スポーツ施設の大規模改修や、スポーツ団体への支援により本市のスポーツ・レクリエーションの振興を図る。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	陸上競技場は計画どおり事業が進んでおり、これからは生涯スポーツの推進のため競技場を活用した市民が気軽に参加できるスポーツ教室の開催などの検討が必要となってくる。また、スポーツ環境の向上として市有建築物長寿命化計画を踏まえた体育館等の施設の改修を検討していく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	東初富テニスコートは改修が完了し、予定どおり利用を再開できた。また、陸上競技場は一般利用は5月からとしたが、個人の利用が増えており、新たな市民ニーズの掘り起こしができた。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	1年間継続してスポーツをしている市民割合(市民意識調査)	%	—	—	22.2	25.0
	ii	余暇時間にスポーツを行っている市民割合(市民意識調査)	%	—	—	11.3	15.0
	iii						
③基本事業成果指標	i	スポーツイベント・教室参加者数	人	15,880	14,423	15,640	15,500
	ii	体育協会登録団体数	団体	27	28	28	増加
	iii	スポーツ施設利用者数	人	330,019	327,206	308,263	340,000
	iv						
	v						
	vi						
	vii						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)	令和元年度予算			
事業費(千円)	117,911	656,570	(単位:円)	6,002円	173,395		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	体育館など他のスポーツ施設の改修を行うとともに、プロスポーツ団体と連携した交流機会、にぎわいの創出を図っていく必要がある。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	陸上競技場改修に伴うスポーツ施設利用者数の減などがあり、指標が前年度と比べ減となった。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	特に体育館は昭和57年整備から約40年が経過し老朽化目立ってきていることや、地域防災計画上、市庁舎の機能が不十分である場合の移設場所となっていることから市有建築物長寿命化計画を踏まえた改修を行う必要がある。
③特に重点化する事務事業	体育施設の管理運営に要する経費